

防災コラム

#017



名前：高木 淳一

卒塾期：1期

活動地域：岐阜県内

連絡先：makidamatizukuri@yahoo.co.jp

防火クラブでHUGを開催

私が瑞穂市から依頼を受け実施した、HUG（避難所運営ゲーム）を紹介します。

ここ数年、瑞穂市市民協働安全課と協力し、瑞穂市少年少女防火クラブでのDIG（災害図上訓練）やHUGを実施しています。

防火クラブ員は小学4年生から6年生で、地図を学びはじめた4年生がDIGに参加することは、今後の学習を考えるうえでも良い機会だと感じていました。

しかし、HUGは大人でもパニックになってしまうようなゲームなので、小学生がどのように考えるのか不安があり、保護者チームの皆さんにも協力していたがきながら進めました。

HUGは、模造紙を体育館に見立て、避難スペースや通路を書き込むところから始まり、受付や情報ボード（お知らせ用）の配置場所を決めます。この体育館に、避難者を模したカードを配置していきます。

4つの地域から次々と避難してくる住民を、住んでいるコミュニティー等を加味して配置していく作業を小学生が行いました。

ついていけず拗ねたりする子どももいますが、HUGを体験することで、避難所のことを知ってもらえたことは大変有意義だったと思いますし、いろいろと防災の事を考えてもらえるきっかけになると良いと考えています。